



一日二生。  
 毎日を全力で生きていきたい。

3歳から中学校卒業まで福山市に住んでいました。当時の友人とは今でも交流があります。やはり、福山の実家にいるときに番のんびりリラックスできる時間ですね。

高校で野球をしていた父の影響もあり、小さい頃から野球は身近なものでした。市民球場へよく試合観戦に行ったのも覚えています。絶対野球選手になるぞと思っていたのは、中学校3年生のとき。福山市で元プロ野球選手が指導する野球教室に参加したことがきっかけでした。元選手の華やかなオーラに圧

プロ野球選手

# 太田 泰示

ŌTA TAISHI

## プロフィール

1990年(平成2年)広島県生まれ。読売ジャイアンツに所属するプロ野球選手。3歳のときに福山市へ転入。川口小学校1年生時にソフトボールを始める。城南中学校では軟式野球クラブ「松永ヤンキース」に所属し、2年時には秋の県大会で優勝。元プロ野球選手が指導する野球教室で、原辰徳(現監督)と出会う。その後、原監督の母校である東海大相模高校に進学。第90回全国高等学校野球選手権北神奈川大会決勝では大会記録となる5本塁打目を放ち、リリーフ投手として登板。最速147km/hを記録した。高校通算65本塁打。ドラフト1位指名を受け、読売ジャイアンツと契約。背番号は、松井秀喜選手のメジャーリーグ移籍以来、準永久欠番扱いとなっていた「55」に決まる。

倒されましたね。当時の楽しかった思い出は、苦しいときに初心に立ち返る原点となっています。福山市は野球をはじめとしたスポーツが盛んなまち。こうした自然豊かな環境の中で、子どもたちには元気にスポーツをしてほしいですね。これからも一日二日を大切に、練習試合に全力を出し切って、福山を代表するプロ野球選手として頑張っていきたいと思っています。

プロ野球・女優というフィールドに活躍する2人の熱き思いをエールに。

# 町本 絵里

ERI MACHIMOTO

女優・歌手

成せば成る。  
 感謝と笑顔で、  
 前を向いて歩こう。

高校時代まで過ごした福山市は、ばらのまち。実家でばらを栽培していますので、小さいころから花に接する機会も多く、親しみを感じています。今でも帰ってきたら、花のお世話や、ばらティーなどを楽しんでいます。

小学生のころから、ファッションにはとても興味があつて、よく母に雑誌を買ってもらいました。大学進学で上京した



## プロフィール

1983年(昭和58年)福山市生まれ。広島県立府中高等学校を経て、日本大学経済学部卒業。大学在学中に「ミス日大」を受賞するとともに、イギリスのケンブリッジ大学への短期留学も経験。2004年(平成16年)ミス・ユニバース・ジャパン優勝。1年間、親善大使やモデルとして世界を舞台に活躍。2005年(平成17年)東映映画「まだまだあぶない刑事」にて映画初出演。2006年(平成18年)ソニー・ミュージックエンタテインメントより「VENUS JOURNEY/GO AWAY BOY」で歌手デビューを果たす。2009年(平成21年)舞台「蠅の街のマリア」、2010年(平成22年)舞台「車椅子の結婚式」では主演を務めるなど、活躍の場を広げている。

ある日、「Hey You!」と金髪の女性に声をかけられたんです。それが、ミス・ユニバース・ジャパンのナショナルディレクターのイネス・リグロン。彼女との出会いから、私の挑戦がはじまりました。ウオーキングや英会話などきびしい訓練を経て、ついにミス・ユニバース・ジャパンに選ばれたときには、本当にうれしかった。自分を信じて努力をすれば、夢が叶うんだと実感しました。当時、イネスはよく「Be Happy! 人生を楽しくもう」といっていました。人生は二度を向いて歩くことが大切ですよ。今までいろいろな節目には、いつもそばに音楽がありました。音楽に恩返しをするためにも、これからの活動を通じて、一人でも多くの人に元気を与えられたらと思っています。